

# 1. 評価結果概要表

評価確定日 平成21年 10月24日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2276600372
法人名	(有)ホスピタルサービス
事業所名	グループホーム福田はまぼうの家
所在地 (電話番号)	磐田市福田中島726 ( 0538-58-3611 )
評価機関名	セリオコーポレーション株式会社
所在地	静岡市清水区迎山町4番1号
訪問調査日	平成21年8月25日

## 【情報提供票より】(平成21年08月01日 事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年6月15日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	23 人	常勤 20人/ 非常勤 3人/ 常勤換算	19.1人

### (2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄骨 造り	
	3階建ての 1階～3階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	¥35,000	その他の経費(月額)	¥10,000
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	昼食	
	夕食	おやつ	
	または1日当たり ¥1,000		

### (4) 利用者の概要(平成21年08月01日現在)

利用者人数	25 名	男性	6 名	女性	19 名
要介護1	6 名	要介護2		9 名	
要介護3	6 名	要介護4		2 名	
要介護5	2 名	要支援2		0 名	
年齢	平均 85.4 歳	最低 65 歳	最高	96 歳	

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	大橋医院・とりの痛みクリニック・原歯科医院
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

3階建ての各階を1・2・3号館と使用している。ホームの周辺は水田が残る住宅地であり、落ち着いた雰囲気がある。各階では、ホーム全体の理念の他に、地域密着型に相応しいそれぞれのユニットごとの理念を作成している。職員が利用者に気さくに話しかけ、利用者の好きなことを皆で楽しむ姿が見られ、ホーム全体に明るい雰囲気が感じられる。地域の行事への積極的な参加も見られ、地域との交流も進んでいる。時節柄計画中の消防署を含めた防災訓練を着実に実施し、さらに地域との交流を深め、利用者の安全確保を図るよう期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回指摘の「地域密着型サービスの理念」・「運営推進会議を活かした取り組み」は改善が進んだ。「入浴を楽しむことができる支援」・「災害対策」については継続した課題となっている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の意義を理解し、全員で取り組んでいるが、1・2・3号館の特徴を浮き彫りにし、それに見合った課題への取り組みは充分とはいえない。利用者一人ひとりの状態に合わせた介護が行われているように、介護度等のユニット毎の違いに着目した課題への取り組みが望まれる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>昨年の指摘に基づき、運営推進会議の年間スケジュールが策定されていた。家族や地域・行政の協力を得て、2ヶ月に1回着実に開催されている。会議では利用者の現況やホームの活動状況が報告され、そこで出された意見をサービスの向上に活かしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>毎月の請求書は郵送せず、原則ホームに取りに来てもらっている。その折本人の暮らしぶりや健康状態・金銭管理・職員の異動等について説明し、家族の要望等も聞き取っている。また、重要事項説明書に苦情・相談窓口を明記し、玄関に苦情箱も設置して何時でも気楽に意見を聞く態勢にある。出された意見は職員で共有し、運営に反映させている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣の関係は良好で、自治会に加入し、音楽祭・展示会・秋祭り等の地域の行事に参加し、風神太鼓・腹話術・花笠音頭等のボランティアの受け入れにも力を入れている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念として「思いやり・ユーモア・喜び・くつろぎのある家」「利用者様らしい生き方・生活リズムが確保できる家」を掲げている。更に地域密着型の視点から、1・2・3号館夫々の理念を策定しつつある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム全体の理念は勿論のこと、1・2・3号各館の理念を策定しながら共有し、その実践に取り組んでいる。理念の掲出は事務所内の掲示に留まっている。	○	思いを込め苦勞して作られた理念は、玄関・居間・廊下・記録・発行物等に公表し、内外協力して更なる実践に結び付けるよう検討されたい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、音楽祭・展示会・秋祭り等の地域の行事に参加し、風神太鼓・腹話術・花笠音頭等のボランティアの受け入れにも力を入れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部・自己評価の意義を理解し、改善に取り組んでいるが、1・2・3号館の特徴を浮き彫りにし、それに見合った課題への取り組みはまだ充分とはいえない。	○	3号館の運営も軌道に乗り、職員も定着してきた今、利用者一人ひとりの状態に合わせた介護が行われているように、介護度等のユニット毎の違いに着目した課題への取り組みが望まれる。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の年間スケジュールが策定されていた。家族や地域・行政の協力を得て、2ヶ月に1回着実に開催されている。会議では利用者の現況やホームの活動状況が報告され、そこで出された意見をサービスの向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	日常の報告・連絡・相談が密に行われており、介護相談員の受け入れも行っている。また、定期的に行われる福祉施設の会議に参加し、共にサービスの質向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書は郵送せず、原則ホームに取りに来てもらっている。その折本人の暮らしぶりや健康状態・金銭管理・職員の異動等について説明し、家族の要望等も聞き取っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情・相談窓口を明記し、玄関に苦情箱も設置して何時でも気楽に意見を聞く態勢にある。出された意見は職員で共有し、運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の安定に最大限の努力を傾注し、職員も定着してきた。職員のユニット換えは1名を基本とし、馴染みの職員に安心して介護が受けられるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修規定がしっかりしており、着実に実施されている。外部研修については相応しいものについては参加を促しているが、実質的な参加は少ないようである。	○	職員の経験や資質に基づいてレベル分析を行い、外部を含めて最低限これだけはという年間研修計画を策定し、参加を検討されたい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市の主催する会議やケアマネージャー連絡会に参加し、同業者との情報交換や交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	出来る限り本人と家族に見学に来てもらい、雰囲気慣れてもらうようにしている。本人の心のケアをまず考え、家族とも相談しながら、利用者が最も安心してサービスを開始できるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者から調理法や味付け・つくしのお浸しの作り方・割り箸を使って生けたお花が倒れないようにする工夫等、学びながら支えあう関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所時のアセスメントシート使い、本人の意向を把握している。入所後は声掛けや会話の中から本人の希望や意向の引き出しに努め、それに沿えるように心掛けている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は入所時のアセスメントに基づき、本人・家族・職員・医師等の意見を尊重し、本人本位に作成している。事前情報のある入所者については、今年の5月より以前の介護計画を入手して入所前にまず介護計画を立て、入所後の観察で変更していくことをしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6か月に1度、定期的にモニタリングを行い、介護計画の見直しをしている。また、入院等体調に変化があった場合はその都度見直し、家族が請求書を取りに訪問した際に確認を取っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の都合が悪いときは受診の付き添いや入院の対応をしている。また、できるだけ利用者の希望に添えるよう、外出したい時は1対1で近所の喫茶店や本屋へ行くこともある。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	職員の付添により、協力医療機関へ月2回の受診。月2回の往診。馴染みのかかりつけ医には、原則家族の付き添いによる受診をしており、適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	主治医の意見もあり、重度化した場合は、老人病院へ移る方針である。重度化、ターミナル対応の方針やマニュアルはない。	○	これからの方向として、ホームでの看取りを希望する人が出てくる可能性がある。法人として一度ターミナルについての方針やマニュアルについて検討することを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報使用同意書を家族から取っている。個人の書類は各階ごとの事務所に保管されている。利用者の誇りを傷つけることのないよう、トイレ等の声掛けに注意し、入浴時排泄時にはドアを閉めるよう心掛けている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	危険なこと以外、できるだけ本人の希望にそったことを見守りながら行うようにしている。嫌なことは無理強いせず、出来ないことは介助や励ましの声をかけている。包丁の使用、利用者による餃子作りをしたことがある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は宅配サービスを利用しているが、利用者の好みに応えるための食材は一緒に買い物で補い、ホームにて調理している。食器は利用者が使い慣れた物を使用している。利用者に調理の手伝いをしてもらうこともある。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外で希望があれば毎日の入浴は可能であるが、一人ひとりの希望やタイミングに応え切れていない。	○	利用者の入浴希望をかなえるように改善されつつあるが、更なる努力を期待したい。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	近所の個人スーパーへ歩いて買い物へ行ったり、車で、離れたスーパーへ買い物に行くこともある。各ユニットでカルタ、歌など気に入っている楽しみがある。また、1・2・3号館それぞれに行楽・外食等の年間行事計画が組まれており、気晴らしの機会を提供している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出の希望があれば職員が付き添い、買い物・喫茶・外食等ユニットごとに散歩に出かけている。少し離れた小学校まで足を延ばすこともある。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間9時から朝6時まで以外は鍵をかけていない。日中利用者様が外出しそうな時は止めることをせず、一緒に話しながら歩くようにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の自主防災組織に加盟しており、協力はお願いしているが、地域や消防署と一緒に防災訓練は行っていない。今年の防災訓練にあたり、消防署による事前の訪問が予定されている。	○	地域や消防署の協力を得た防災訓練を、計画通り是非とも実行していただきたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>カロリーは宅配サービスの献立表の記載を参考にしており、食事や水分の摂取量は、介護記録やチェック表に記録されている。職員は利用者一人ひとりの状態に合わせて摂食の支援をしている。</p>	○	<p>問題ないと思われるが、一度管理栄養士などに献立表を見てもらい、カロリー・栄養バランス等のチェックをしてもらうと安心である。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>窓を開け、心地良い自然の風を取り入れている。利用者による季節の花や折り紙、塗り絵で居間や部屋が飾られている。台所が対面式で居間全体が見渡せるようになっており、開放的である。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者のゆかりの人の写真や仏具が置かれている部屋もあり、又、花の写真、使い慣れた家具など、それぞれの部屋に利用者の生活感が感じられた。</p>		